

排出事業者を対象にした 産業廃棄物に関する研修会のご案内

排出事業者を対象にした産業廃棄物マネジメント研修会（製造事業者のための産業廃棄物適正管理）を開催いたします。詳細につきましては、日廃振センターホームページをご覧ください。

排出事業者を対象にした産業廃棄物マネジメント研修会 ＝製造事業者のための産業廃棄物の適正管理＝

企業の社会的責任（CSR）が強く求められ、かつ排出事業者責任がますます強化される中、今、産業廃棄物について、以下の対応が求められています。

- ① 産業廃棄物処理の適正性の確保（コンプライアンス）
- ② 産業廃棄物の再生利用（リサイクル）への取組み
- ③ 排出抑制など環境負荷の低減

産業廃棄物の適正管理を通じ、これら社会的ニーズへの取組みを目的とした研修会です。

参加費 無料

開催日時 〔第1回〕平成24年2月 1日（水） 13:20～16:40
〔第2回〕平成24年2月29日（水） 13:20～16:40

会場 秋葉原UDX 4階 NEXT1（定員:120名）

対象者 産業廃棄物処理の管理・監督責任者等

申込み WEBから〔日廃振センターホームページ〕 [URL http://www.jwnet.or.jp/](http://www.jwnet.or.jp/)

申込み受付開始:平成23年12月19日（月）午前9:00

※12月19日より申込み受付を開始しております。この記事をご覧いただいた時点で、定員に達し申込み受付を終了していた場合には、ご容赦ください。

プログラム（予定）

受付 …… 12:45～13:20

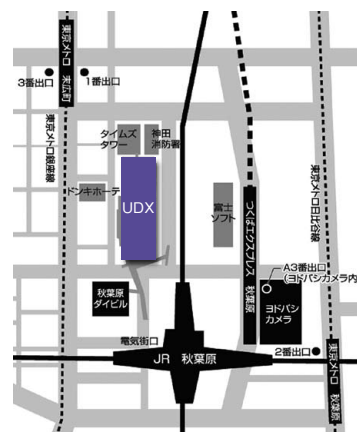
開会 …… 13:20

- 排出事業者のための廃棄物処理法の解説 …… 13:30～15:00
講師：（財）日本産業廃棄物処理振興センター
- 排出事業者責任と行政処分・罰則の事例 …… 15:10～16:10
講師：産業廃棄物行政担当者
- 排出抑制など環境負荷低減の取組み …… 16:10～16:40
〔第1回〕 発表者：製造事業者（電機・電子・通信機器）
〔第2回〕 発表者：製造事業者（化学工業）

主催 財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

お問合せ先 〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター
教育研修部【担当：佐藤・木村】
電話：03-5275-7115 FAX：03-5275-7116（受付：9:00～17:00）

会場案内図



〔秋葉原UDX〕4階 NEXT1
〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1
※JR秋葉原駅 徒歩2分

第10回産業廃棄物と環境を考える全国大会

「追跡! 改正廃棄物処理法の現状」をテーマに

平成23年11月4日（金）にホテルグランヴィア京都に於いて、（公社）全国産業廃棄物連合会、（財）産業廃棄物処理事業振興財団並びに（財）日本産業廃棄物処理振興センターの三団体主催による、「産業廃棄物と環境を考える全国大会」を開催いたしました（写真1）。

今年で本大会は第10回目を迎え、多くの廃棄物関係者（506名）の参加となりました。

大会では、環境大臣表彰式典の後、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長 廣木雅史氏の基調講演「産業廃棄物行政の現状と今後の展開」がなされ、続いて、行政担当者、事業者、学識経験者のパネリストによる討論会が「追跡! 改正廃棄物処理法の現状（建設系廃棄物を中心に）」をテーマに行われました（写真2）。

なお、次回の全国大会は、平成24年10月26日に東京都での開催を予定しています。



写真1 開会挨拶



写真2 パネルディスカッション

廃棄物減量化に努める韓国優良企業等の来訪

国際部では、廃棄物の情報収集や相互訪問調査等を円滑に進めていくための海外関係機関とのネットワークの構築を目指しています。

平成23年11月に、韓国政府から廃棄物減量化の取組みについて表彰された韓国民間企業が、日本視察の一環として、韓国環境部廃棄物資源管理課主務官、韓国環境公団廃棄物管理部次長他と共に、日廃振センターを訪れました（写真1）ので、その概要を報告します。

日時 平成23年11月29日（火） 15:00～17:00

来訪者 韓国民間企業6社
韓国環境部廃棄物資源管理課主務官
韓国環境公団廃棄物管理部次長他

視察目的 日本における廃棄物処理・リサイクルに関する取組みについての情報収集

※当視察は、3泊4日の日程で行われ、日廃振センターのほか、製造業、建設業および廃棄物処理業者への会社訪問を行い、廃棄物管理方法や減量化等の事例についての視察を行った。

プレゼンテーション 「日廃振センターの事業概要」
「日本における電子マニフェストの現況」



写真1 韓国視察団および日廃振センター職員

「ISWA 2011 Daegu World Congress」での発表報告

国際部は、国際協力事業における、有害廃棄物および産業廃棄物マネジメントに関する情報の収集・提供、国際交流として、「ISWA 2011 Daegu World Congress」に参加し、「日本における産業廃棄物管理のための電子マニフェスト制度の現状」の発表を行いましたので、以下のとおり報告します。

持続可能な循環型社会形成に向けて、世界各国の廃棄物マネジメントに関する情報や経験の交換・共有の場として、ISWA (International Solid Waste Association) が主催する国際会議が毎年開かれている。ISWAは、オーストリアのウィーンに本部を置く、非政府の非営利組織であり、公共利益の持続的かつ専門的な廃棄物マネジメントの促進および発展を世界規模で推進することを目的に、廃棄物に係わる国際会議の開催、途上国への支援、廃棄物教育プログラムの提供等の活動を行っている。

今回、日廃振センターは、2011年10月17日～20日に、韓国の地方都市、大邱（テグ）にて開催された年次会議であるISWA World Congress 2011 に参加し、口頭による発表を行った（写真1、2）。計54カ国から約640名が参加した会議では、口頭発表、ポスター発表等を併せて約270の発表があった。

日廃振センターは、「日本における産業廃棄物管理のための電子マニフェスト制度の現状」と題して、日本の電子マニフェスト制度に関する法規制の内容やシステムの加入状況、制度化されるまでの経緯などについての口頭発表を行った。発表会場においては、すでに電子マニフェスト制度を採用している国の行政担当者や研究者等からの関心を引いたほか、共通する課題についての質疑を受けるなど、充実したプレゼンテーションとなった。

国際部は、当発表を契機に諸外国とのネットワーク構築に充実を図り、電子マニフェスト制度の課題や問題点などの意見交換を進めながら、今後の日本の電子マニフェスト制度の改善に役立てようと考えています。また、まだ電子マニフェスト制度を採用していない国も多く存在する中で、今回の発表が、広く利用されることを期待しつつ、今後の問合わせ等にも着実に対応し、国際的な廃棄物の適正管理の支援に積極的に努めて参ります。



写真1 会場の外観(テグ国際会議場)



写真2 日廃振センター発表の様子